

今、私たち大切にしたい「教育と学校」を考えよう

≪1日目≫ 11月20日(土) 13:30~16:30 (13:00 受付)
分科会 大津市生涯学習センター(京阪膳所本町駅 徒歩5分)

≪2日目≫ 11月21日(日) 10:00~12:00 (9:30 受付)
全体会 アクティ近江八幡(JR近江八幡駅南口から南西へ線路に徒歩7分徒歩)

滋賀で
待ってまうす



青年に実践レポートを準備してもらっています。
レポートを聞き、授業や子どもとの関わりなど思いや悩みを出し合ひましょう。

分科会①**肢体不自由の実践**:和歌山と京都からのレポート
分科会②**1才半頃の発達の時期**:京都、滋賀からのレポート
分科会③**2, 3才頃の発達の時期**:滋賀、大阪からのレポート
分科会④**軽度及び学級の実践**:大阪、兵庫からのレポート

講演「子どものこと、もっと分かりたい～発達を学ぼう～」



講師：富井奈菜実さん
(奈良教育大学講師・発達相談員)



富井先生は、主に幼児期から学童期前半の子どもたちの発達支援に多くたずさわっておられます。滋賀教研障害児分科会では共同研修者として、学校での実践を発達の視点でひもとき、明快にわかりやすくお話しして下さいます。発達の理解が深まると、子どもたちの願いや葛藤、頑張りがますます愛おしく感じられます。子どもたちに出会うことが待ち遠しくなるようなお話が聞けるはず。気軽に誘い合ってご参加ください。

お問い合わせは、滋障教 077-522-4965 まで
申込先FAX：滋障教 0077-522-4978 *11月12日(木)までお願いします
メール：info@zkshiga.jp QRコードからの申し込みもできます。

お名前	所属・学校名
連絡先 tel/mail (オンライン参加の方は必ずお書き下さい)	
参加について (〇をしてください)	1日目現地参加 (参加分科会① ② ③ ④) 1日目オンライン参加 (参加分科会① ② ③ ④) 2日目現地参加 2日目オンライン参加

申し込みフォーム



近フロ[障]教培「秋の学習交流集会」in 滋賀 11月20日 分科会のレポート紹介

分科会	レポート概要
<p>① 肢体不自由の子どもたちの実践</p>	<p>『新たな一歩～小学部 肢体障害クラスの1年』 小学部5年生3名、6年生1名の肢体障害のクラス。6年生Aは転校生。自閉症、脳性麻痺で歩行不安定。愛着形成にも課題。大人を求める傾向が強く、自分の思いと異なるとつかみかかる、もの投げ、自傷行為。私がキーパーソンだが、少しずつ他の先生とも関係をつくっているところ。Aは発作も頻発し体調も安定せず、不適切な行動につながることも。家庭的にも課題あり。Aの安定がクラスの安定につながるのには明らかだが、厳しい状況がつづく…。 (レポーター:京都 Yさん)</p>
	<p>『障害の重い子どもの発達をとらえるーやりとりの手段を獲得した A さんー』 機能面に大きな制限がありながらも、やりとり手段を獲得していく A さんの育ちを発達、集団、内面などさまざまな観点から吟味しています。みんなで意見を出しあって、さらに深めていけたらうれしいです。 (レポーター:和歌山 Mさん)</p>
<p>② 1歳半頃の子どもたちの実践</p>	<p>『ドタバタな私たちのクラス』 元気いっぱい、パワフル中学部5人組。ことばでの表出が難しい子どもたちは、からだ全体をつかって、アピール合戦！子どもたちの行動に、「えー！なに？」「どうということ？」とあたふたし、悩む日々である。その行動に込められた、本当のおもい・ねがいは…。「トイレに行きません。」「バブルアート事件」など、子どもたちとの関わりやヒットしない授業を通して、子どもたちの成長や授業づくりについて考える。 (レポーター:京都 Hさん)</p>
	<p>『Tちゃんとの2年間を振り返って』 周りの人よりもモノに気持ちが向いていた T ちゃん。2年生、3年生と担任する中で伝えたい思いとともに少しずつ人への気持ちも膨らんでいきました。そんな T ちゃんとの2年間をレポートとして書いてみます。 (レポーター:滋賀 Mさん)</p>
<p>③ 2,3才頃の子どもたちの実践</p>	<p>「びっくりした」「触れた」「できた」「褒められた」嬉しいはずのことも含めて、感情の起伏が全てパニックとして表れているような毎日を過ごしていた R くん。R くんにとっての友だちやクラス集団が居心地の良いものになってほしいという願いをもって関わってきた 2 年間の様子をまとめました。R くんのを姿を知ってもらい、話してもらえると嬉しいです。 (レポーター:滋賀 Yさん)</p>
	<p>半年間在籍していた「なつきちゃん」(仮名)は、学校に来た当初、集団活動でも一人で泣いていることが多く、目線も合いにくい子でした。「なんとか、この子の笑顔が見たい」そう強く思い、「なつきちゃん」の好きなことをたっぷりくぐらせることに。院内の学校で出会った子どもたちの実践を紹介できればと思います！ (レポーター:大阪 Oさん)</p>
<p>④ 知的軽度および学級の実践</p>	<p>『支援学級の役割って何？』 中学校で支援学級に在籍している生徒や保護者は何を求めているのか？話を聞いてみると、学力の低さの話ばかりが出てくる。実際に支援学級の生徒と学校生活を送ってみると…。中学校支援学級の役割や、支援学級生に必要な育ちについて、みんなで考えたいと思います。 (レポーター:大阪 Kさん)</p>
	<p>『不登校と言われる生徒からのメッセージ』 ここ数年不登校と言われる生徒たちとの関わりが増えてきました。結果がすぐに出ないことが多いので、そこに支援や指導の迷い、継続の困難さが出てしまいます。A さんとのやり取りを振り返りながら、登校できない生徒たちに何が伝えられるのか考えていきたいと思っています。 (レポーター:兵庫 Kさん)</p>